

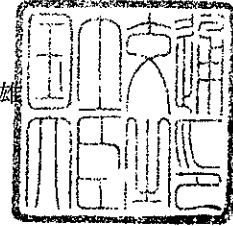


## 認定書

国住指第1491号  
平成 16年 10月 20日

株式会社ノザワ  
代表取締役社長 野澤 俊也 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第一号(柱:1時間)の規定に適合するものであることを認める。

### 記

1. 認定番号

FP060CN-0155

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

アクリル系樹脂塗装押出成形セメント板/せっこうボード・両面アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート・せっこうボード合成被覆/鋼管柱

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

アクリル系樹脂塗装押出成形セメント板/せっこうボード・両面アルミニウムはく張  
ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート・せっこうボード合成被覆/鋼管柱

## 2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
断 面 形 状	ボックス形
寸 法	239.12 以上×329.56 以上 , H(階高による)

## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①荷重支持部材 (断面寸法)	角形鋼管 □-200×200×6 の断面寸法以上 ただし□-300×300 以下とする ・規 格 JIS G 3466
②被覆材	[1] 両面アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート ・厚 さ 0.56 以上 ・大き さ 786.87 以上×910 以上 ・形 状 シート状 [1]-1 黒鉛含有ブチルゴムシート ・厚 さ 0.3 以上 ・比 重 1.60 <sub>±0.10</sub> ・大き さ 786.87 以上×910 以上  [1]-2 アルミニウムはく張ガラスクロス ・厚 さ 0.13 以上 ・大き さ 786.87 以上×910 以上  [2] せっこうボード(鋼材側)(平成12年建設省告示第1401号) ・規 格 JIS A 6901 ・厚 さ 9.5 以上 ・大き さ 200 以上×1649 以上  [3] せっこうボード(表面側)(平成12年建設省告示第1401号) ・規 格 JIS A 6901 ・厚 さ 9.5 以上 ・大き さ 239.12 以上×1649 以上

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
③外壁材	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 押出成形セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・規格 JIS A 5441</li><li>・厚さ 60 以上</li><li>・大きさ W 362.5 以上×H 600 以上</li></ul> <p>(2) コンクリート板</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成 12 年建設省告示第 1400 号</li><li>・厚さ 70 以上</li><li>・大きさ W 362.5 以上×H 600 以上</li></ul> <p>(3) 軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・規格 JIS A 5416</li><li>・厚さ 100 以上</li><li>・大きさ W 362.5 以上×H 600 以上</li></ul>

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

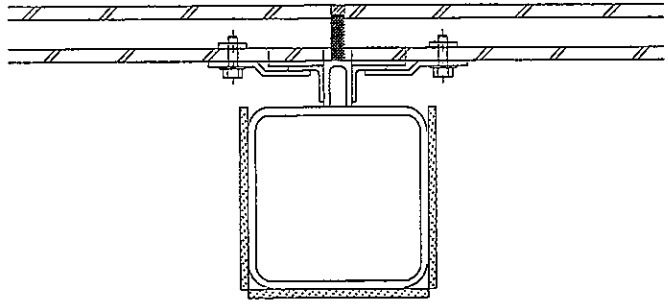
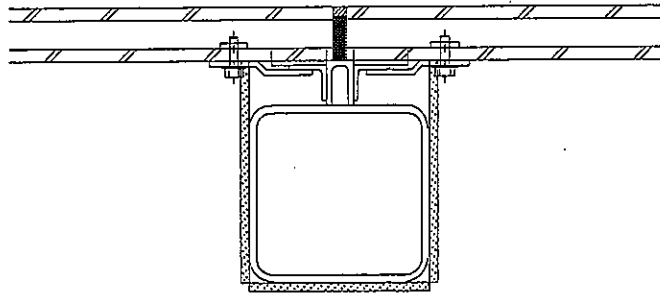
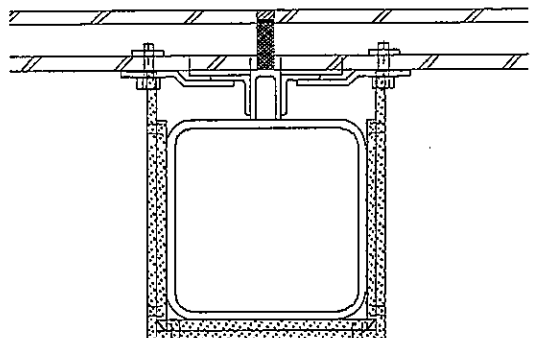
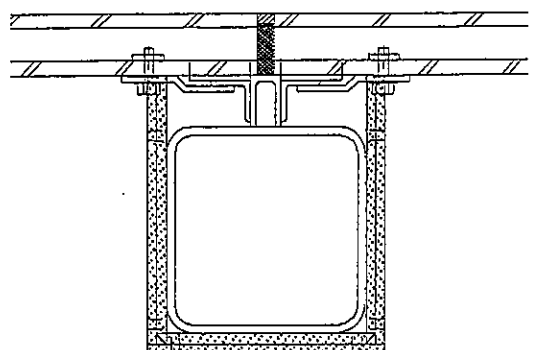
項 目	申 請 構 造
①定規アングル	L-40×40×5 の断面寸法以上
②タッカー針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寸 法 幅 4 以上×ℓ 19 以上</li> <li>・間 隔 100 以下</li> </ul>
③接着材料	<p>せっこうボード(鋼材側)留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 ｲ)～㌵)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>ｲ)アクリル系樹脂</li> <li>㌵)酢酸ビニル系樹脂</li> <li>㍑)でん粉系</li> <li>㍒)ゴム系</li> <li>㍓)せっこう系耐火接着剤</li> </ul> </li> <li>・塗布量 500g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>(2)両面テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 基 材 和紙 粘着剤 アクリル系樹脂</li> <li>・使用量 500g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>両面アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート、 せっこうボード(表面側)留付け用 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 ｲ)～㌵)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>ｲ)アクリル系樹脂</li> <li>㌵)酢酸ビニル系樹脂</li> <li>㍑)でん粉系</li> <li>㍒)ゴム系</li> <li>㍓)せっこう系耐火接着剤</li> </ul> </li> <li>・塗布量 500g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>(2)両面テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 基 材 和紙 粘着剤 アクリル系樹脂</li> <li>・使用量 500g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>(3)なし</p>

(寸法単位：mm)

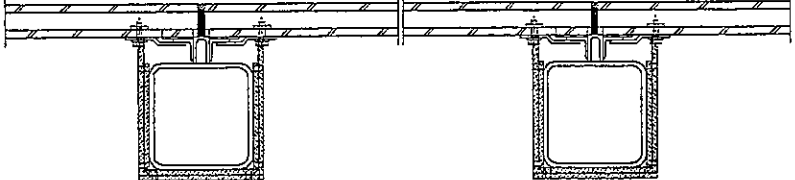

項 目	申 請 構 造
④塗装	・材 質 1)～1)のうち、いずれか一仕様とする 1) アクリル系樹脂 2) アクリルシリコン系樹脂 3) アクリルウレタン系樹脂 4) アクリルエポキシ系樹脂 5) ウレタン系樹脂 6) フッ素系樹脂 7) 無機系 ・塗布量 有機質量 300g/m <sup>2</sup> 以下
⑤シーリング材	・規 格 JIS A 5758 (建築用シーリング材) ・材 質 1)～1)のうち、いずれか一仕様とする 1) アクリル系 2) ポリウレタン系 3) 変成シリコン系 ・塗布量 200g/m以下
⑥バックアップ材	・材 質 ポリエチレン系発泡体 ・厚 さ 2 以下 ・密 度 33kg/m <sup>3</sup> 以下
⑦耐火目地材	・材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ロックウール保温板 1号 (平成 12 年建設省告示第 1400 号) 2) セラミックファイバー ・密 度 60kg/m <sup>3</sup> 以上
⑧U型ブラケット	・形 状 L-30×50×120 の断面寸法以上 ・厚 さ 6 以上 ・間 隔 900 以下
⑨重量受け	・形 状 L-40×23×5 の断面寸法以上 ・長 さ ℓ 60 以上
⑩Zクリップ	・材 質 SS400 ・厚 さ 6 以上
⑪ボルト、ナット	・材 質 SS400 ・寸 法 M10 以上

3) 施工仕様

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
<p>①鋼材側せっこうボードの割付</p>	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 鋼材側のせっこうボード端部が柱と面一</p>  <p>(2) 鋼材側のせっこうボード端部を外壁に突付け</p> 
<p>②表面側せっこうボードの割付</p>	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 横勝ちタイプ</p>  <p>(2) 前勝ちタイプ</p> 

(寸法単位：mm)

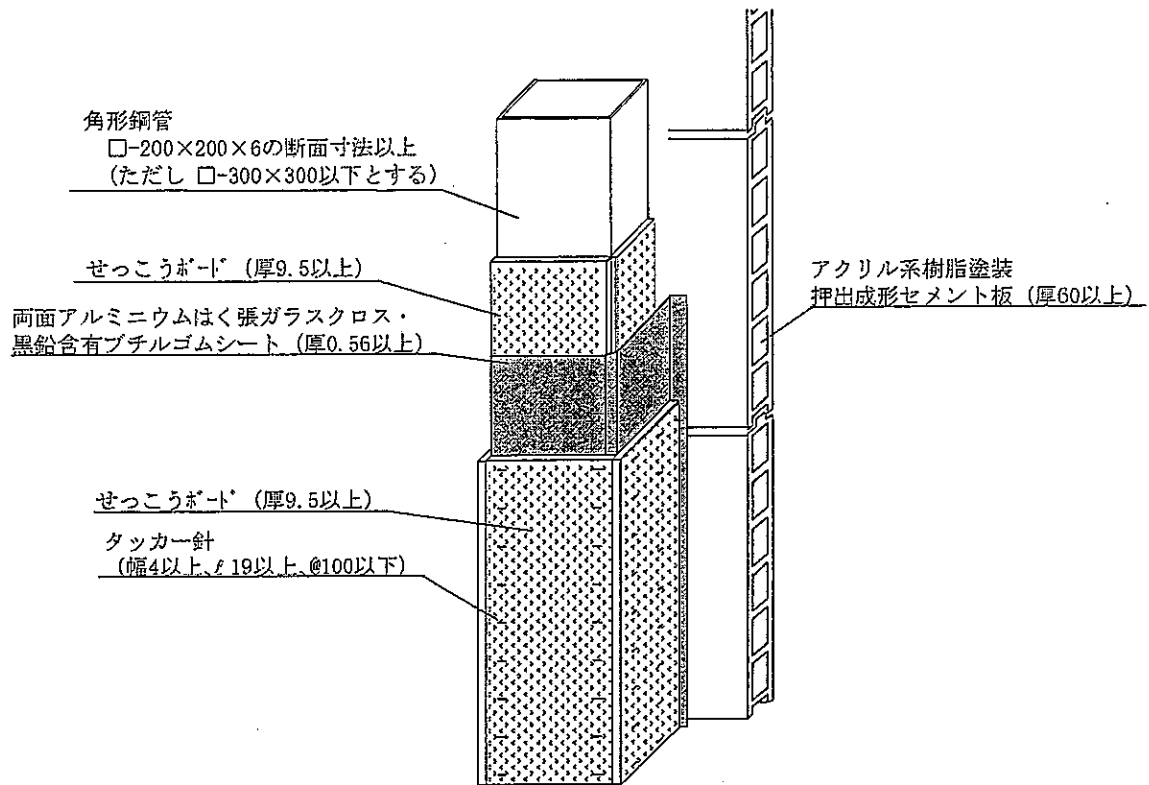
項 目	申 請 構 造
③壁と柱の距離	50 以下
④外壁材	取付方向 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 横張 (2) 縦張
⑤外壁材の目地位置	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 柱前面に目地を設置  (2) 柱間に目地を設置 

4. 構造説明図

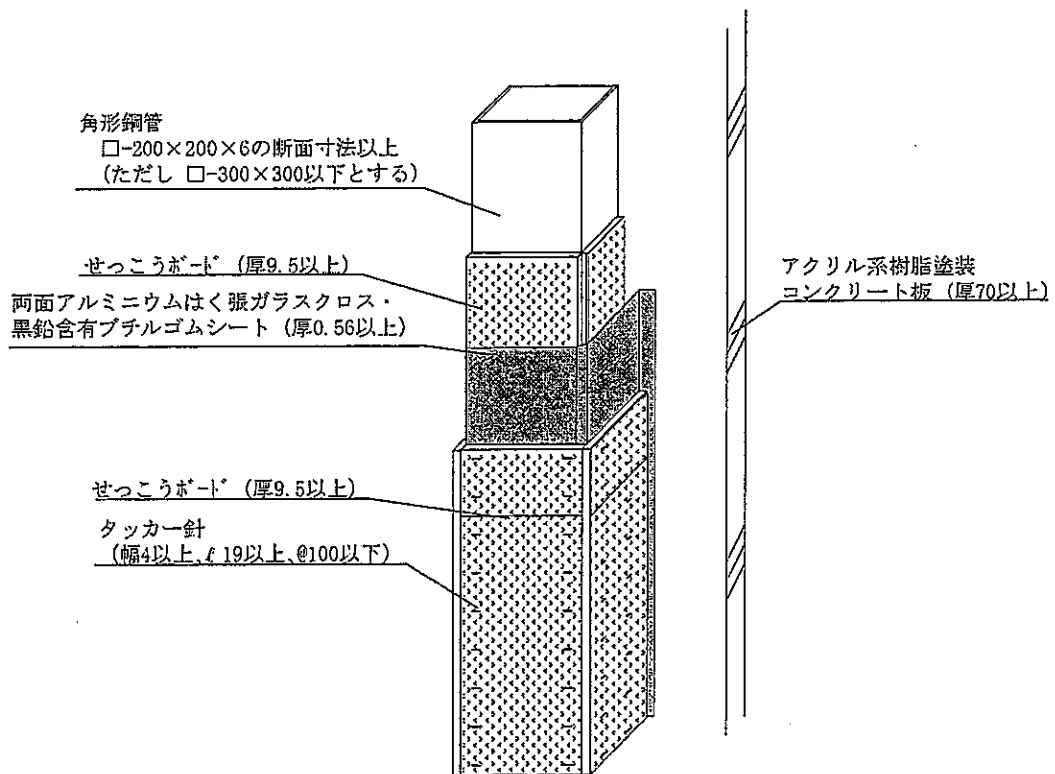
(寸法単位: mm)

斜視図

・押出成形セメント板外壁の場合



・コンクリート板外壁の場合



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

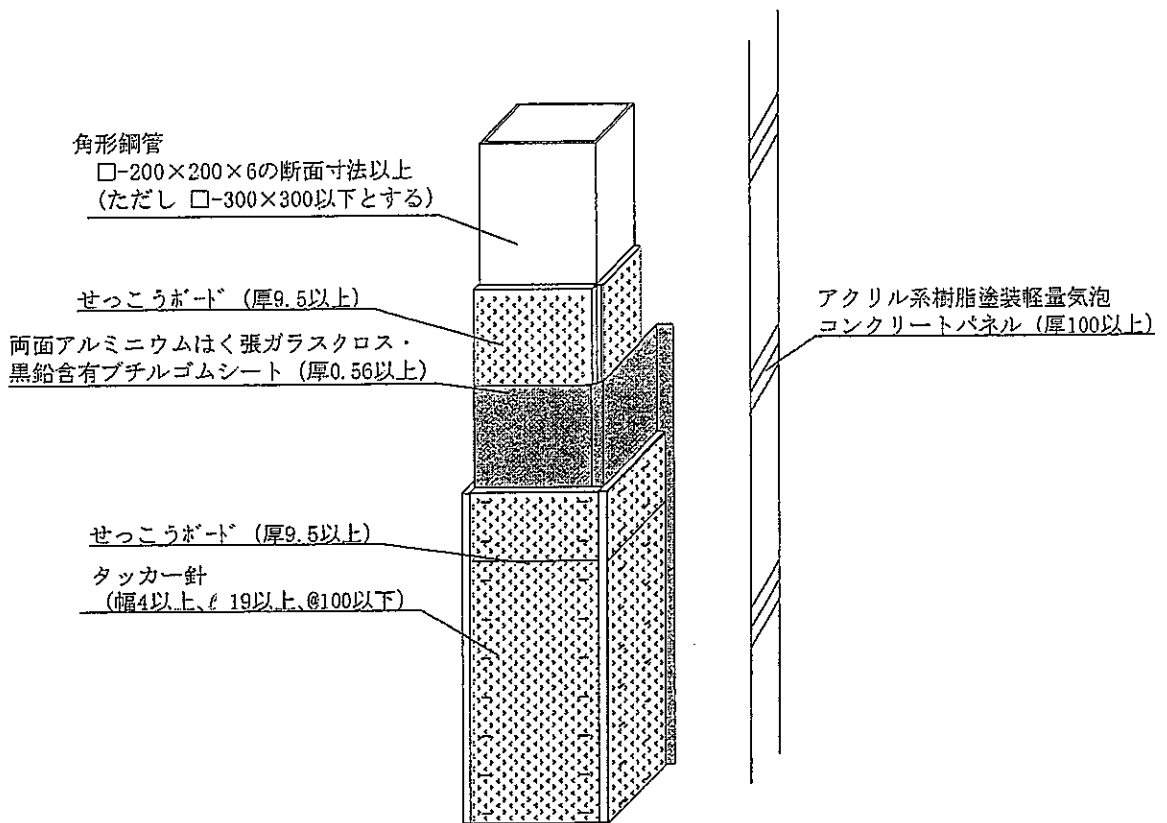
(別添-7)



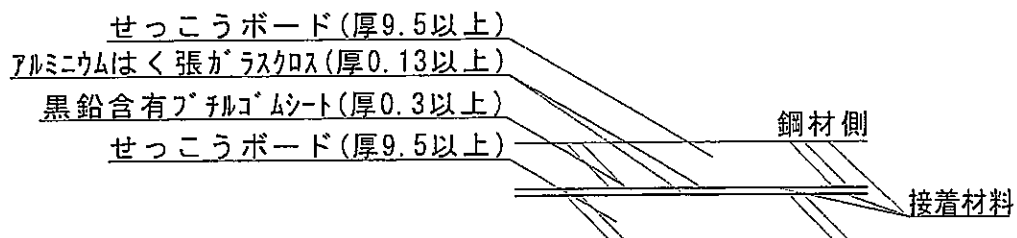
(寸法単位: mm)

斜視図

・ 軽量気泡コンクリートパネルの場合



・ 被覆材拡大図



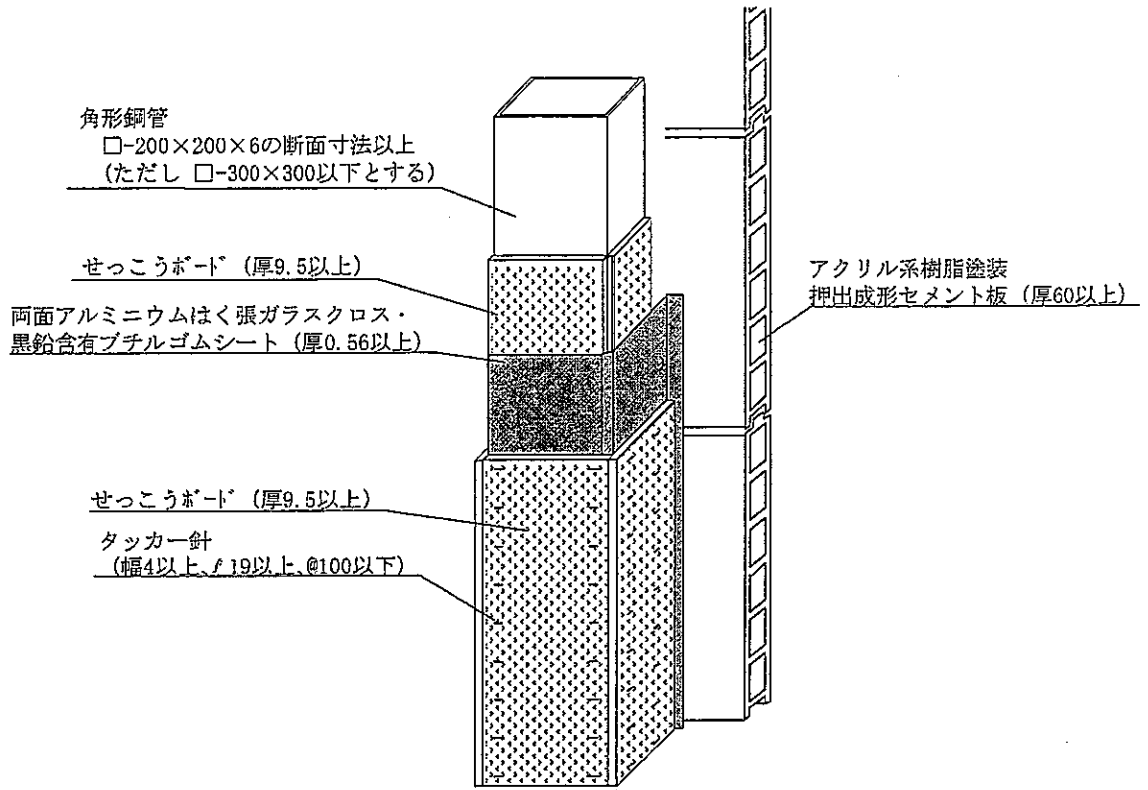
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

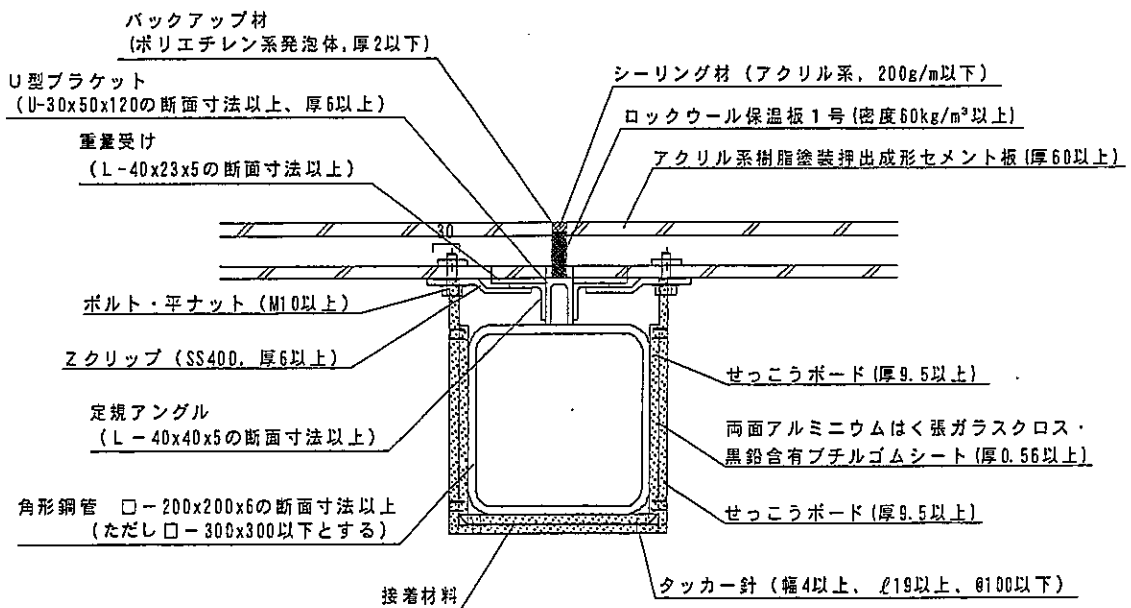
<施工図>

(寸法単位：mm)

押出成形セメント板の場合  
斜視図

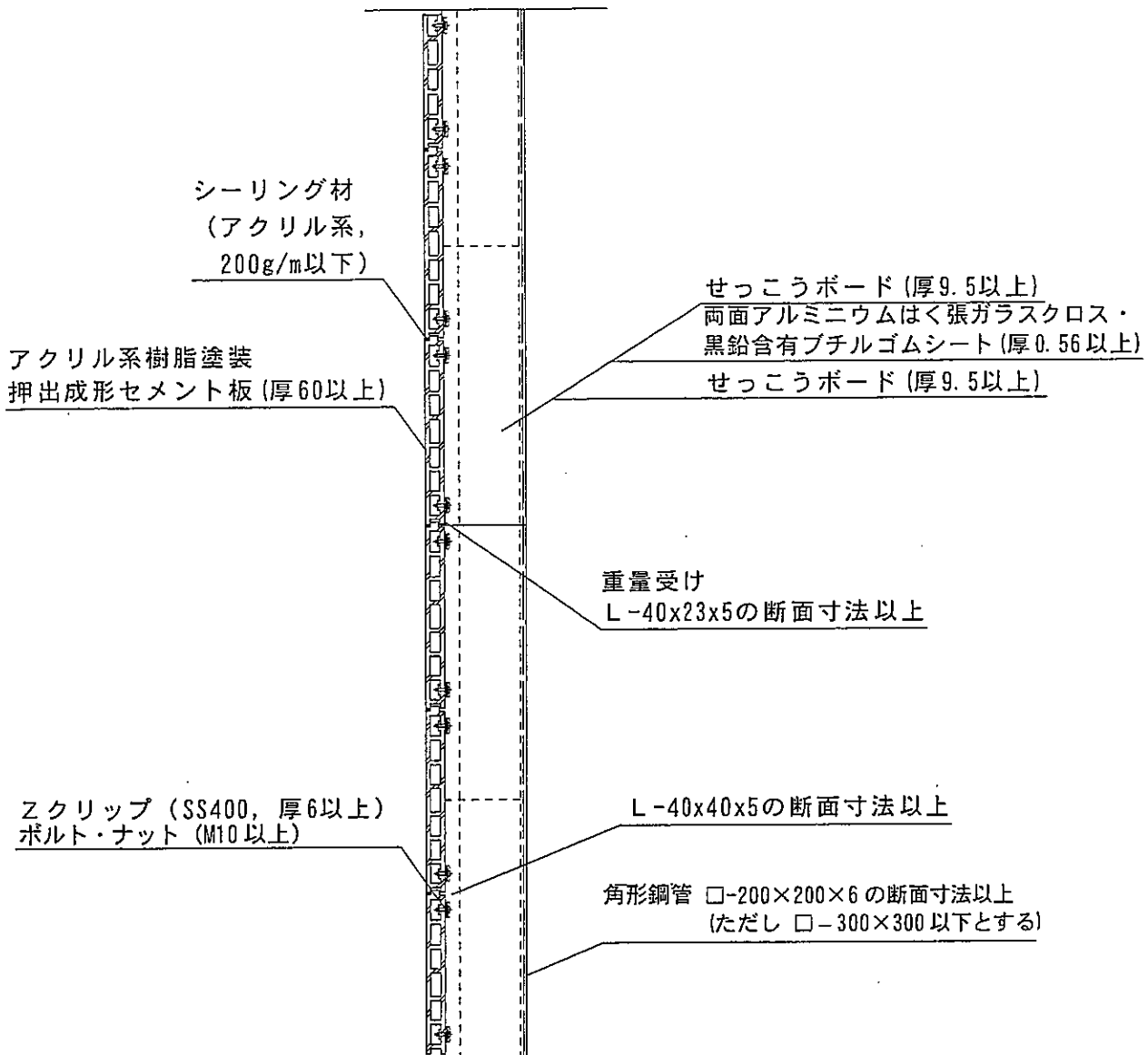


水平断面図



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

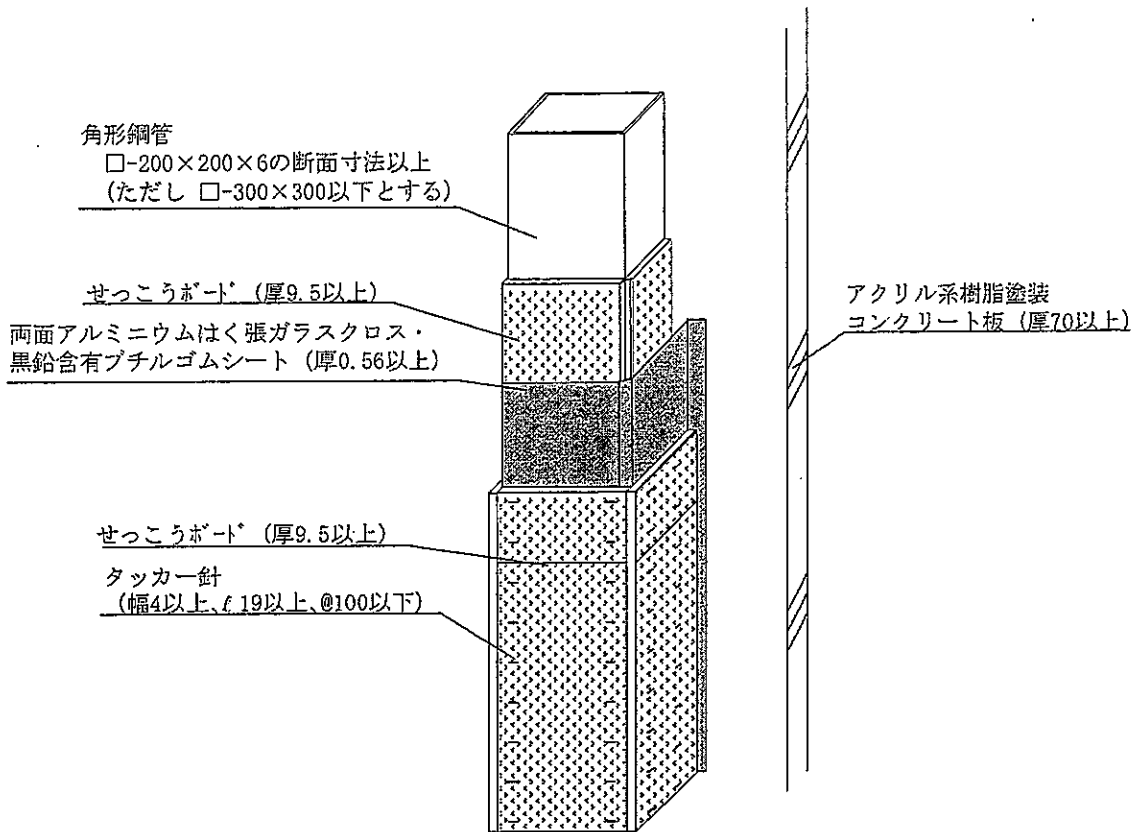
垂直断面図



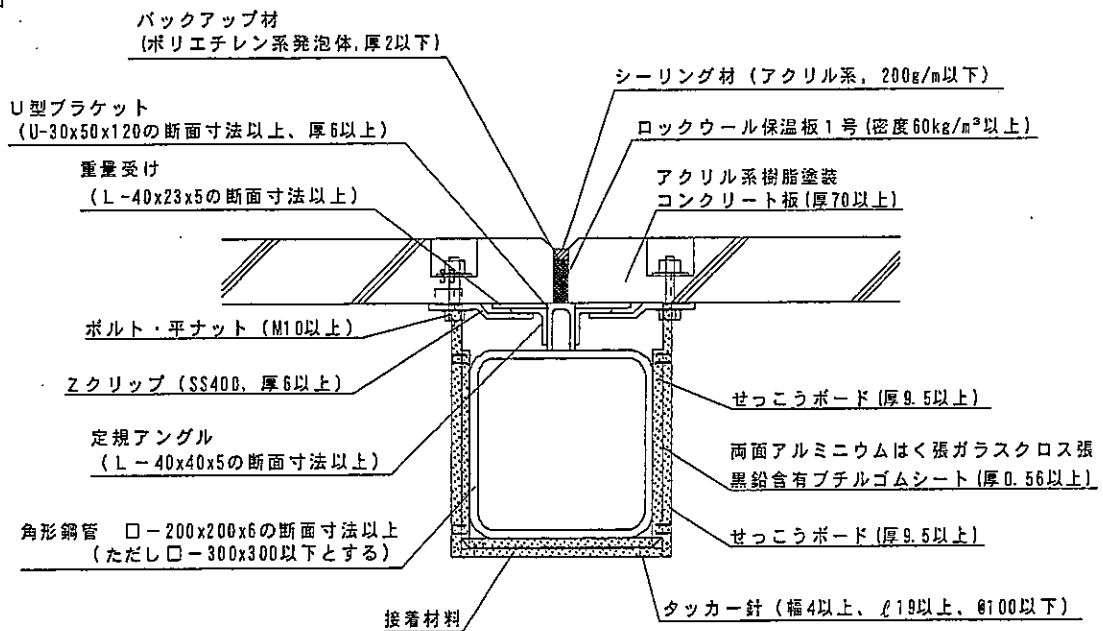
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

コンクリート板外壁の場合  
斜視図

(寸法単位：mm)

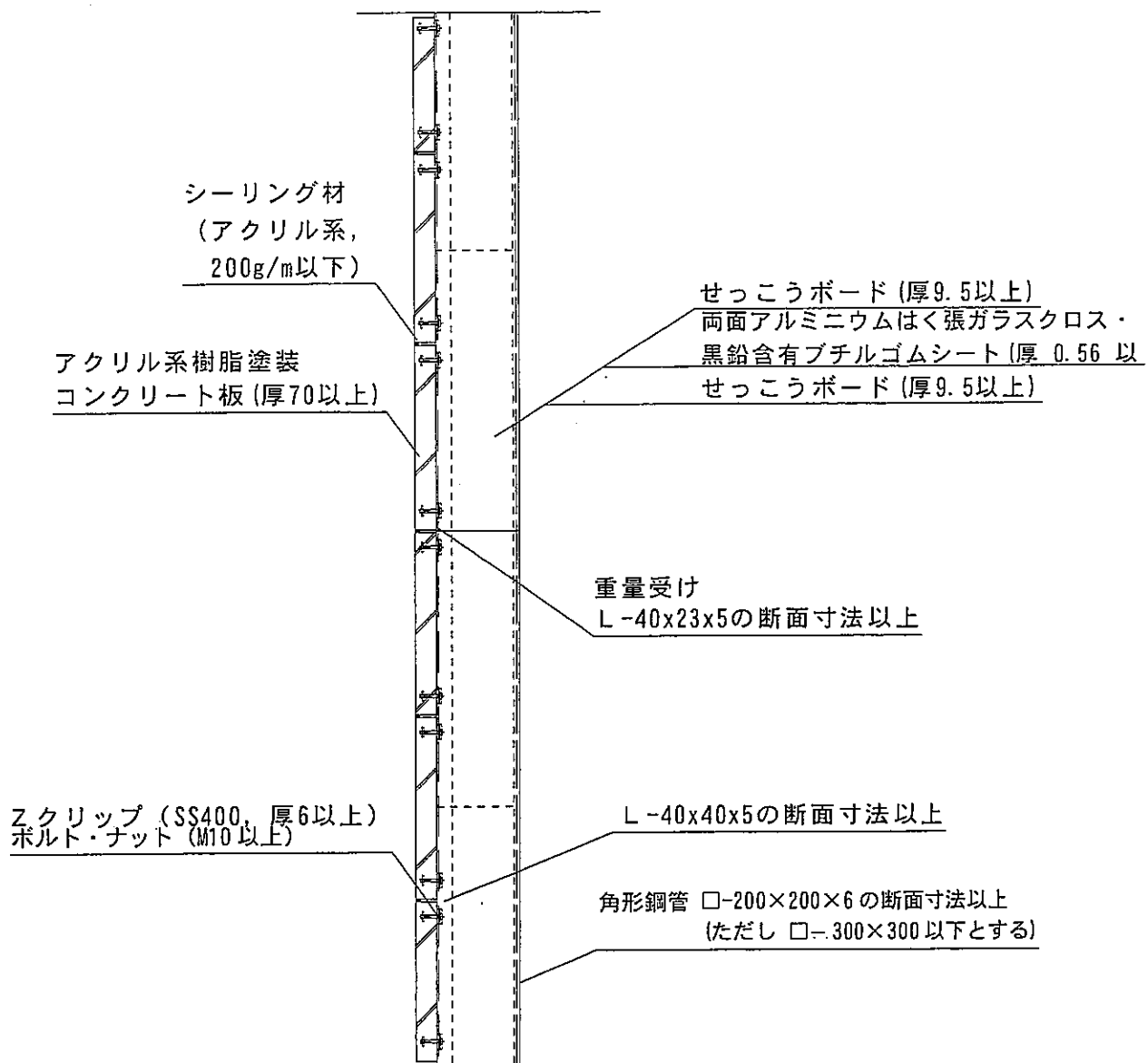


水平断面図



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

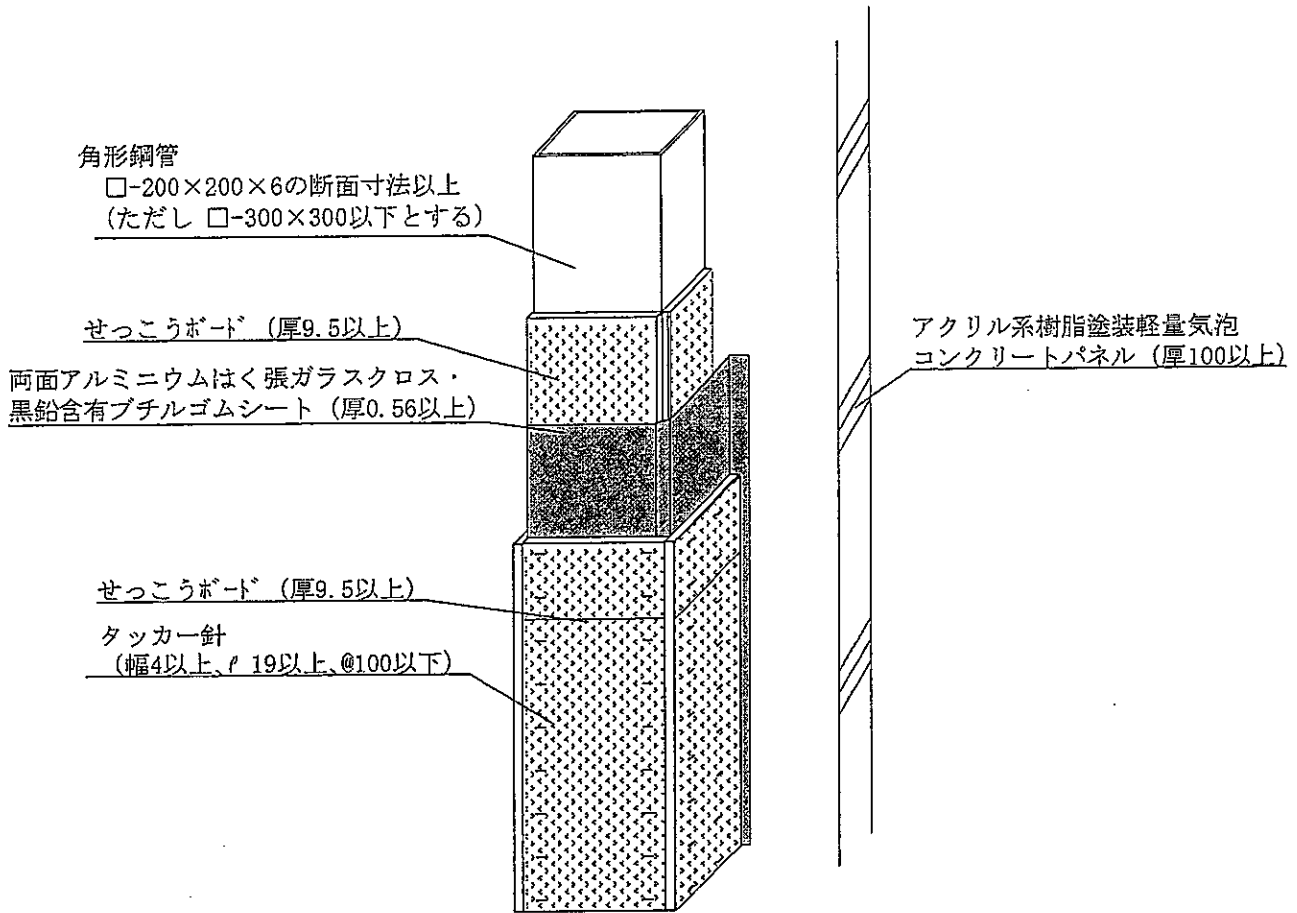
垂直断面図



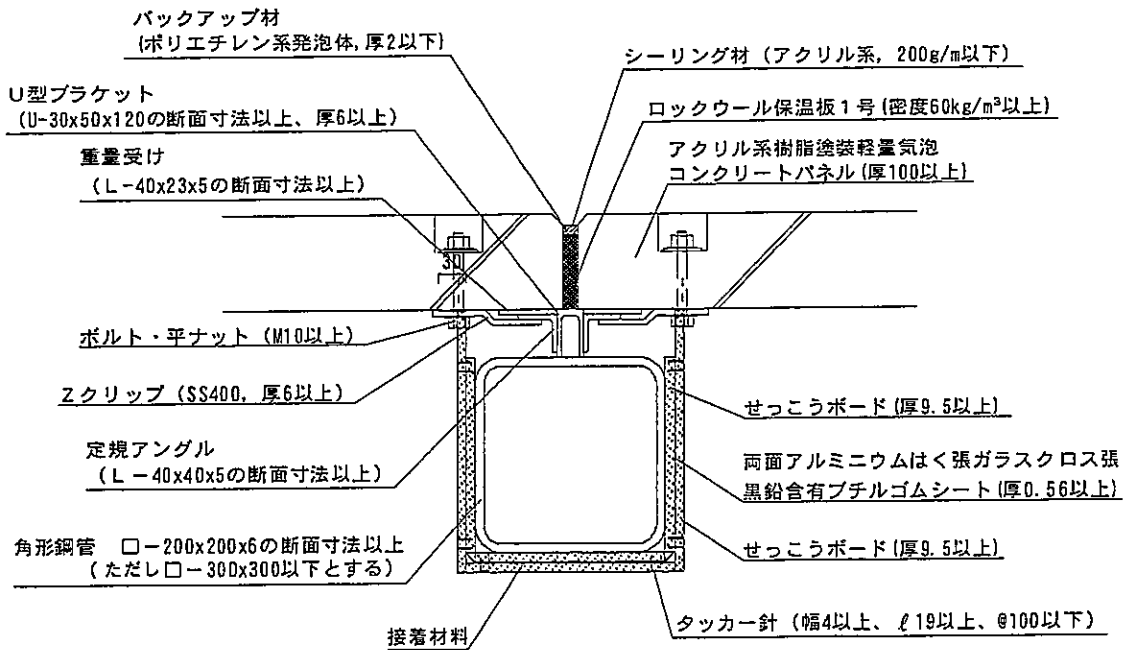
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

軽量気泡コンクリートパネル外壁の場合  
斜視図

(寸法単位：mm)



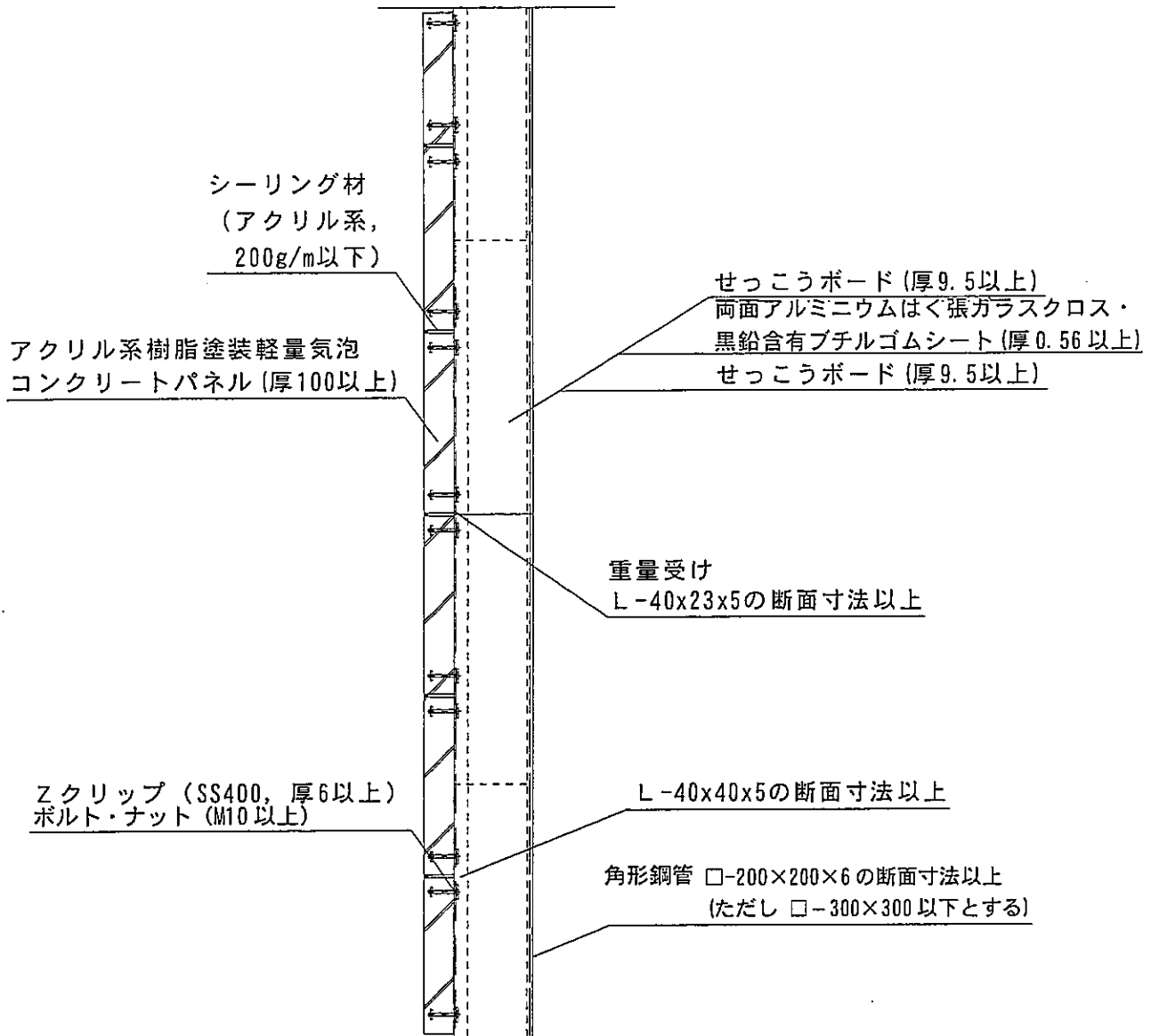
水平断面図



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(寸法単位：mm)

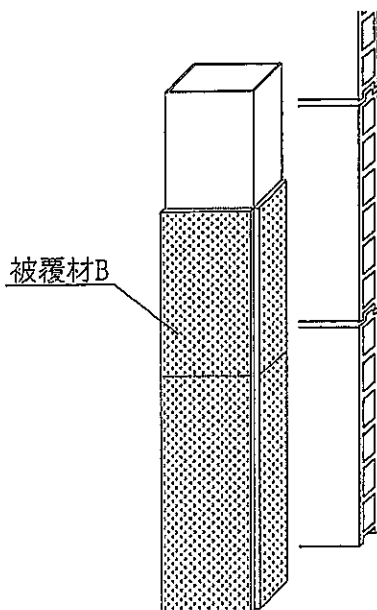
垂直断面図



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

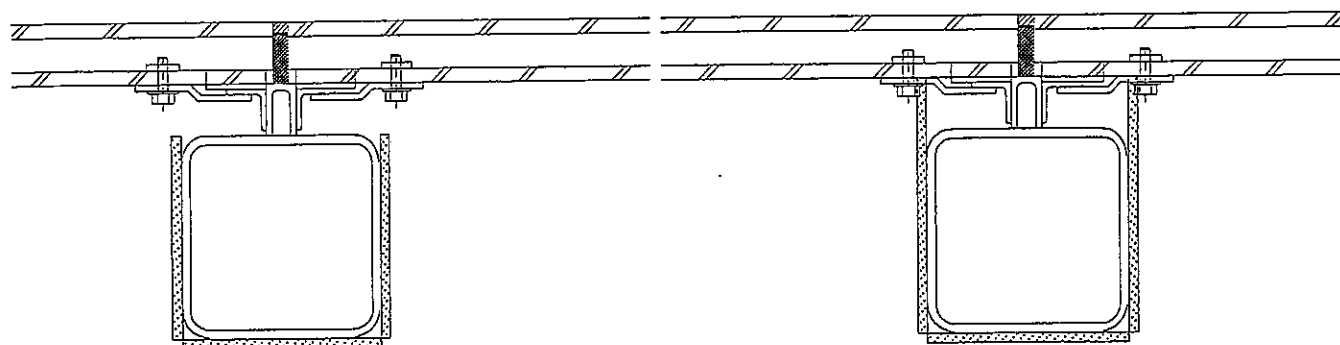
## ＜施工手順＞

- 1) 外壁の施工
  - 1)-1、1)-2、1)-3のうち、使用する外壁材に合わせた施工を行う
  - 1)-1 押出成形セメント板の施工  
押出成形セメント板の施工は、製造メーカー指定方法に準拠する。
  - 1)-2 コンクリート板の施工  
コンクリート板の施工は、JASS14 カーテンウォール工事に準拠する。
  - 1)-3 軽量気泡コンクリートパネルの施工  
(以下軽量気泡コンクリートパネルをALCパネルとする)  
ALCパネルの施工は、JASS21 ALCパネル工事に準拠する。  
外壁は縦張、横張どちらでもかまわない。
- 2) 両面アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート及びせっこうボードの割付け  
(以下、両面アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシートを被覆材A、  
鋼材側せっこうボードを被覆材B、仕上げ用せっこうボードを被覆材Cとする)  
被覆材A及び被覆材B、Cの割付けは設計図及び施工図又は鉄骨寸法より行う。
- 3) 被覆材の作製  
被覆材Aは、割付けにより予め工場において作製する。  
被覆材B及びCは規格に見合う製品化されたものを工場又は現場において割付ける。
- 4) 被覆材の取付け
  - 4)-1 被覆材Bの取付け  
鉄骨に被覆材Bを立掛ける。この際、鉄骨に対して仮留めとして接着剤または両面テープを用いてもよい。





被覆材Bの取付け方は下記図の様に、せっこうボード端部が柱と面一か又は、せっこうボード端部を外壁に突付けのいずれかとする。



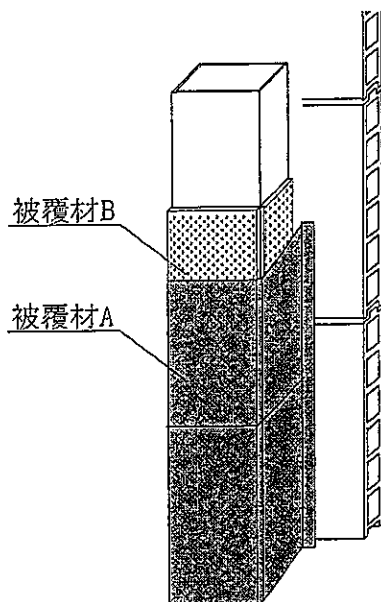
面一

突付け

4) -2 被覆材Aの取付け

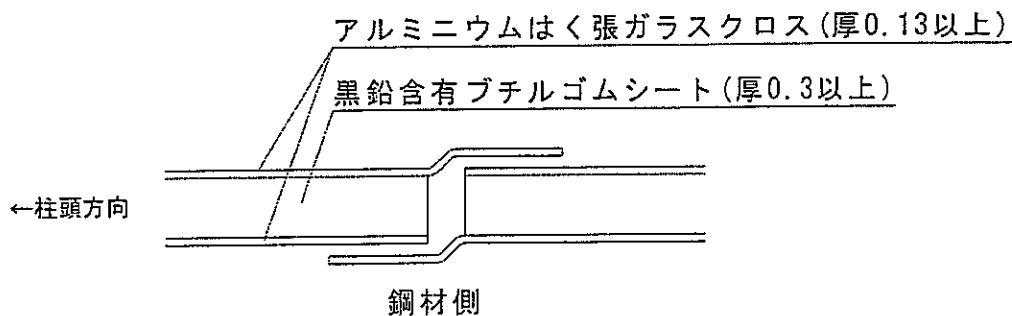
仮留めした被覆材Bの上に被覆材Aを巻付ける。その際仮留めとして接着剤または両面テープを用いても良い。

被覆材A相互の横目地は下記図のようにラップさせる。



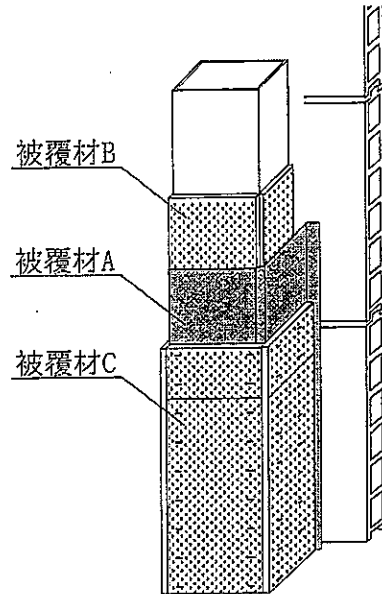
横目地部詳細

(寸法単位：mm)

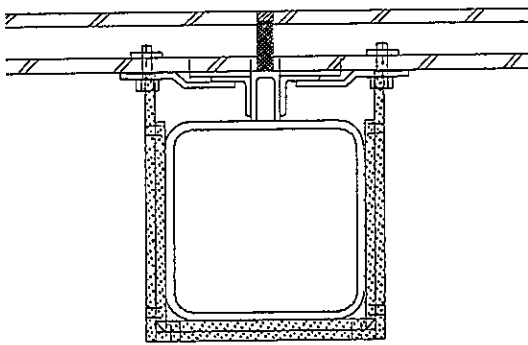


4)-3 被覆材Cの取付け

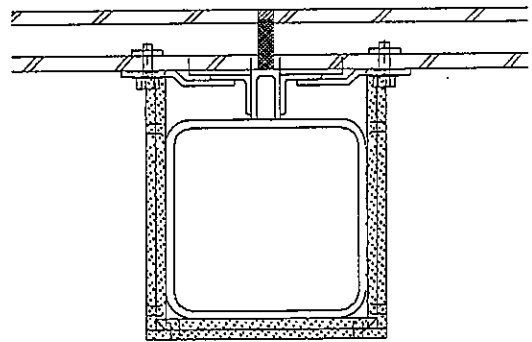
被覆材Aの上に被覆材Cを取付ける。その際仮留めとして接着剤又は両面テープを用いても良い。留付けはタッカー（幅10mm以上、長さ19mm以上、@100mm以下）を用いる。



なお、被覆材Cの割付方は下記のいずれかの方法とする。



横勝ちタイプ



前勝ちタイプ

6. 注意事項

本構造に使用する被覆材については、耐久性に留意し、所定の耐火上の性能が維持されるよう適切な処理を行う必要がある。